

福徳岡ノ場からの軽石4

11月5日にランドサット8が福徳岡ノ場周辺を観測しました。

噴火開始直後の8月17日と差異に驚きます。

8月17日の画像で硫黄島西南西海上漂流物・軽石が沖縄周辺等で大きな社会問題をおこすとは予想できませんでした。

センチネル2は福徳岡ノ場周辺の観測はカバーしていませんが、11月7日に沖縄本島周辺を観測しています。



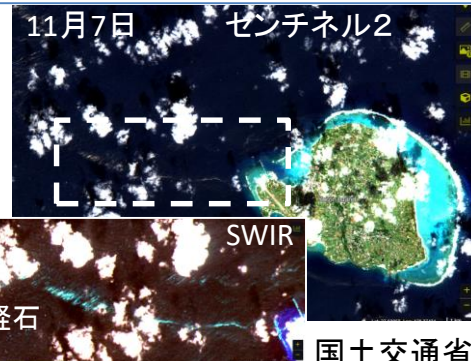
軽石被害で停電のおそれ 与論島に漂流物回収船派遣

軽石の影響で停電が懸念される与論島に、漂流物の回収船が派遣されることになった。

国土交通省が鹿児島県の与論島に派遣する、海洋環境整備船「海煌」は、「スキッパー」と呼ばれる網目状の装置で、海面の漂流物を回収する能力を持っている。

鹿児島県によると、軽石は11月1日時点で、奄美群島全体の83カ所で漂着が確認されていて、与論島では、タンカーから発電所への重油補給ができず、停電が懸念されている。これを受けて、漂流物の回収船が派遣されることになったが、現在、海がしけている影響で、指宿市の港に停泊していて、出港は8日以降になる見込み。

<https://www.fnn.jp/articles/-/265847>



11月7日の観測は雲の間からでした。

左下はSWIR短波赤外線コンポジットで軽石を強調しました。

船舶は海水を船体に取り組みエンジンを冷却しています。

国土交通省は、幾つかの港湾に海面清掃船を配置しています。河川からの流出物や船舶からの落下物にも知照しています。

国土交通省 九州地方整備局熊本港湾・空港整備事務所ウェブサイトには次の紹介があります。小型ゴミ回収船「むつごろう」を積んでいます。



https://www.pa.qsr.mlit.go.jp/kumamoto/kowansyokai/riake/kaiki_kaiko.html

* 全ての衛星データはEOブラウザ経由です